進化するモノづくり企業

京滋の有力企業トップに聞く

豊富なラインナップの全機種がトップクラスの性能で省エネ運転機能付
製造コスト削減に大きく貢献します。

窒素ガス発生装置

平成23年度
京都中小企業優良企業表彰 受賞

空気圧縮機の電気代だけで、窒素ガスを分離
低コストで高純度の窒素ガスを供給します。

全機種省エネ対応！小型から大型まで窒素ＰＳＡの事なら
あらゆるニーズにお応えします。詳しくはホームページをご覧下さい。
http://www.adriken.co.jp/
株式会社アドバン理研
〒614-8128 京都府八幡市下奈良野神 40-1
TEL:075-972-3838 FAX:075-983-4400

アドバン理研
辻 弥壽彦 社長

事業領域拡大 目指す
窒素ガス発生装置 中型加え業績上げへ

―2011年には京都府から「平成23年度京都中小企業優良企業表彰」を受賞しました。厳しい経済情勢の中でも健闘が目立ちます。

「オイルフリーコンプレッサーの内蔵タイプを含む小型窒素ガス発生装置で国内シェア80%を握る強さや、国内・中国・台湾で特許を取得した高度な技術、小規模でも利益を生む経営スタイルが評価された。11年6月期は売上高が6億746万円で、9年連続で経常利益を計上し、無借金経営も実現した」

―このような強さを築いてきた経営戦略は。

「小型窒素ガス発生装置は市場規模が小さくてもうからないから、大手のガス関連会社は自ら生産しない。だが、顧客からは少量でも必ず注文があるため、商品としては取りそろえざるを得ない。そこで当社は、このような各社の需要をまとめて引き受ける『便利な下請け』となって量産し、ガス装置メーカーやガス会社などにOEM（相手先ブランド）供給している」

―下請けでも利益を確保できる工夫は。

「生産やメンテナンスでは協力会社をフル活用するスリムな経営に徹し、利益も出せる独自の事業モデルを築いてきた。当社の売上高がほとんどそのまま国内の市場規模で、経常利益率は10%前後を保っている」

―OEM供給では、事業の主導権を握るのは難しくないですか。

「OEMとはいえ顧客先での据え付けから試運転、メンテナンスまで一貫して手がけ、技術の権利や価格の決定権も当社がすべて握る。OEM供給先は受注すれば、後は発注書と仕様書を当社に転送するだけですむ。当社にとっては営業をしなくても、OEM供給先の有力なブランド名で注文を取れる。年間販売は約400台に達する」

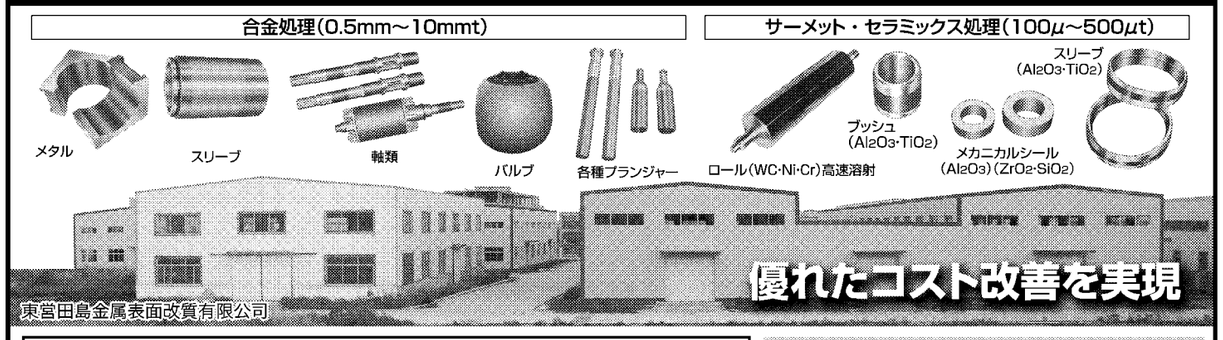
―今後も成長を続ける戦略や目標は。

「中型の窒素ガス発生装置にも事業分野を広げ、20年度には売上高20億円を目指す。ただ、現在の年産能力は15億円。需要が年産能力を超えた場合には、組み立ての外注や中国での生産委託も検討する」

高シェアを握る小型窒素ガス発生装置（小型スクロールコンプレッサー内蔵の屋外仕様）

中国現地生産!! | OEM製作　品質は日本水準を厳守!!
産業機械完成まで、アセンブリー、多品種機械部品の製作。

合金処理(0.5mm～10mmt)　サーメット・セラミックス処理(100μ～500μt)



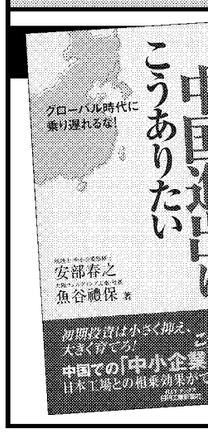
営業品目　WCコーティング(高速溶射)、セラミックス(プラズマフレーム)セラミックス(ローガイド、自溶性合金(サーモスプレイ)、特殊合金(肉盛溶接、精密機械加工受託)

金属コンタミネーション防止
セラミックス、プラズマ溶射
Al2O3

グローバルに対応!!

母材調達完成まで
溶射皮膜加工
特殊鋼焼入部品
一般機械部品、TIG肉盛り

「中国進出!! 相談はクリック」 http://china-go.osakawel.co.jp/



好評発売中

著者
税理士・中小企業診断士　安部 春之
大阪ウェルディング工業・社長　魚谷 禮保 著
四六判　206頁
定価　1,470円(本体価格1,400円)

目次
第一章　中国進出の背景と決断
第二章　進出後のトラブルとその対処
第三章　中国事情の素直な捉え方
第四章　大阪ウェルディング工業の取り組み
第五章　中小製造業の中国進出はこうありたい
第六章　後継者の育成

大阪ウェルディング工業株式会社
本　社　〒567-0001 大阪府茨木市安威2-20-11
関東工場　〒332-0003 埼玉県川口市東領家5-6-6
滋賀工場　〒528-0052 滋賀県甲賀市水口町宇川1426-10(宇川工業団地)
TEL.0748-62-3771～2 FAX.0748-62-8417
http://www.osakawel.co.jp

独資工場　東営田島金属表面改質有限公司
中國山東省東営市東営経済開発区黄河路北東四路西
TEL.001-010-86-546-7760607 FAX.001-010-86-546-7760608

独資工場　上海田島熱噴涂有限公司
〒201804 中國上海市嘉定区安亭鎮黄渡羅家村340　TEL.021-59597488
E-mail：owstowst@online.sh.cn　FAX.021-59597488
http://www.shanghai-tiandao.cn/

独資工場　上海田島環保設備有限公司
中國上海市嘉定区安亭鎮黄渡春帰路229号1棟
総経理　秋月康秀　携帯:日本から　010-86-135-6405-0845

大阪ウェルディング工業
魚谷 禮保 社長

中国子会社の受注好調
中小企業、共同進出求む

―中国・山東省東営市に日本の中小企業専用工業団地を整備するプロジェクトが、2011年から動きだしました。

「当社が現地の開発当局に働きかけて実現したプロジェクトで、日本の中小製造業が入居する敷地10万平方㍍の『第一日本工業団地』を、当局が建設してくれた。入居費は初めの1年間が無料で、以降も日本の10分の1程度。税を優遇し、進出の手続きや操業のサポートもしてくれる。すでに5社の工場建設が進み、投資規模は9億円に上っている」

―どのような狙いで取り組んでいるか、聞かせて下さい。

「当社は2001年に開設した第1工場（上海市）をはじめ、第2工場（同）、第3工場（東営市）と、独自資本で三つの子会社を立ち上げてきた。中国で事業をするのに必要なノウハウを蓄積している。特に、単独では進出が困難なモノづくりの中小企業に、一緒に進出してほしい。募集業種は機械加工、板金、製缶、熱処理、鍛造、金型、射出成形、設計エンジニアリングなど、さまざまだ。現地で日本企業が協業して一貫したモノづくりの共同受注グループを築き、旺盛な現地の設備ニーズを取り込む」

―協力会社が必要となった背景は。

「中国の3子会社では現地の日系大手メーカーから、製鋼用ロールや汚水処理用の遠心分離器、建設機械、繊維機械といった設備・部品の生産委託が相次いでいる。日系大手がコストの安い中国生産を引き続き拡大しているためで、1000個、数百個という大量受注の商談も少なくない。このため当社だけでは、こうしたニーズを請け負えなくなってきた」

―モノづくりの空洞化が進む国内とは対照的ですが、リスクを冒して進出するメリットは。

「日本の中小企業ならば品質に優れた『日本ブランド』と、現地での低コスト生産で優位に戦える。さらに、日系大手のグローバルな競争力向上を下支えし、中国にも利益をもたらす。中国を中心とするアジアは世界の成長センターだ。ともにチャレンジするパートナーを募りたい」

日系メーカーから受注が相次ぐ中国・東営工場

プラズマ技術で未来を切り拓く!!
表面改質に特化した研究・開発用プラズマ処理装置

卓上真空プラズマ装置
型式 YHS-R
¥499,500

ペン型大気圧プラズマ
型式 P500-SM
¥348,000

『デモ処理・レンタル等も承っております』

【実例】
◇貼り合わせの前処理
シリコン／シリコン、
シリコン／ガラス、
PDMS／ガラス
◇マイクロナノシステムへの摘要
微細溝の濡れ性向上
◇細胞培養の前処理
細胞培養に適した表面状態の
シャーレを実現
◇医療用の接着前処理
歯科医療などに用いられる
接着の際の前処理　等…

【ガラスでの処理例】
処理時間により親水性をコントロール出来ます。

～その他のプラズマ製品・周辺取り扱い製品～
・生産用大気圧プラズマ装置
・3軸ロボット・R to R・コーターなど
・真空エッチング装置(微細加工)
・プラズマCVD装置(薄膜形成)
・受託開発・受託製膜・受託加工
・ガラス/白金等の材料加工
価格・納期・仕様で諦めていた案件がございましたら、是非ご相談願います。

SEARCH　魁半導体

10th Anniversary since 2002
SAKIGAKE

株式会社 魁半導体（さきがけはんどうたい）
〒600-8897
京都府京都市下京区西七条御前田町50番地 SAKIGAKEビル
TEL：075-204-9589　FAX：050-3488-5883
URL http://www.sakigake-semicon.co.jp/

魁半導体
田口 貢士 社長

内外のニーズに手応え
面型プラズマ発生装置 100億円事業へ育成

―2012年度の方針は。

「上向き、前向きのムード作りを大事にしたい。ひとつでも多くの開発案件を考える、1社でも多くの顧客開拓を計画するなど意識して忙しい環境をつくっていきたい。忙しくしていると何とかしようと効率的で斬新な今までにないやり方が浮かび、これが業績向上につながってくるからだ。主力の大気圧プラズマ発生装置や、石英事業など商品群の充実は進んでいる。昨年は創業10周年を迎えたが、今年は新しい10年の1年目として、飛躍の年にしたい」

―昨年末は世界最大級の面型プラズマ発生装置が大きな話題に。

「話題になったのは大気圧下で30㌢㍍四方でプラズマを発生する装置だが、30㌢㍍×1㍍サイズまで対応できる。京都大学の酒井道先生が開発した『ファブリック電極』技術を活用した。糸状の電極を編み上げて大面積発生を実現した。液晶や太陽光発電パネル、自動車用ガラス製造の前処理などのほか、これから期待される有機ELパネルなど大面積を効率よく表面改質したいという多くの要望が国内外から寄せられており、大きな手応えを感じている。製品ラインアップなどでリーディングカンパニーの座を固め、近い将来に100億円事業に育てる」

―そのほかの取り組みは。

「2月中に受注生産から在庫生産に切り替える予定だ。ペン型大気圧プラズマ発生装置、卓上真空プラズマ発生装置の2機種が対象で、在庫を持って積極拡販する計画だ。大学や企業の研究開発現場向けの製品で、エレクトロニクスや医療、バイオなど汎用性が高い。表面改質需要が着実に高まっており、スピーディーな納入が求められていた。本社工場を改装し、月産10台と今の3倍の生産規模とする。また石英事業では、顧客の要望にあわせて改質したマイクロプレートなど下請的な事業が中心だったが、自社製品の充実を進める。3月にはガラスコーティングプローブを投入する。直径約6㍉㍍のガラス管に電極を収めたもので、プラズマ下での電流電圧が測定できる。顧客の広がりを意識した事業展開を心がけたい」

100㍉㍍照射が可能なロングスプリットプラズマ「SKIp―ELV100」